

# ウインドパーク

地球温暖化、化石燃料枯渇等から太陽光や風力などのクリーンエネルギーが注目を集めている。電気食い虫と言われる海水淡水化施設の電源に大型風力発電機を並べて福岡の新しい名所を創ると共に、二酸化炭素の削減に貢献する。

海水淡水化施設がまもなく稼動することに成っているが、性能を維持する為に水が余っていても常時数十パーセントの稼働率は維持しておかなければ成らない。その時の消費電力だけでも一万キロワットは超えるだろうと思われる莫大なものである。

この電力を賄う目的で海水淡水化施設の近くの海岸線に1500キロワット級の風力発電機を10基程度並べて壮観なウインドパークとする。海に突き出た砂州であるので、風は十分期待でき、ランニングコストの削減に大いに貢献すると共に、福岡市の環境に対する取り組みをアピールすることもできる。

問題は 国定公園の中であること、 飛行航路上であること、 航空管制電波妨害の可能性、 飛行場移転先が未定であること、などが考えられるが解決できない問題ではない。